

**IVT BlueSoleil™**  
**Standard エディション**  
**マニュアル**

**バージョン: 2.3**

# 目次

<b>1</b>	<b>BlueSoleil™ とは .....</b>	<b>4</b>
1.1	Bluetooth の機能.....	4
1.2	簡潔なユーザー・インターフェース .....	5
<b>2</b>	<b>クレーム .....</b>	<b>7</b>
<b>3</b>	<b>BlueSoleil™の基本操作 .....</b>	<b>8</b>
3.1	Bluetooth アダプタの取り付け .....	8
3.2	BlueSoleil のインストール .....	8
3.3	BlueSoleil の起動.....	8
3.4	アップグレードの確認 .....	9
3.5	アクティベーション .....	9
3.6	他の Bluetooth 機能をサポートしているデバイスの検索 .....	10
3.7	Bluetooth の接続.....	11
3.8	Bluetooth のセキュリティ .....	12
<b>4</b>	<b>BlueSoleil™入門 .....</b>	<b>14</b>
4.1	ステレオオーディオヘッドフォン .....	14
4.2	ベーシックイメージング .....	14
4.3	ダイアルアップ接続 .....	15
4.4	FAX .....	16
4.5	ファイル転送.....	17
4.6	ヘッドセット .....	18
4.7	ヒューマンインターフェイスデバイス .....	18
4.8	LAN 接続 .....	19
4.9	オブジェクトプッシュ .....	20
4.10	パーソナルエリアネットワーク .....	22
4.11	プリンタ .....	25
4.12	シリアルポート .....	25
4.13	シンクロナイゼーション .....	26
<b>5</b>	<b>BlueSoleil ユーザーガイド .....</b>	<b>28</b>

5.1	BlueSoleil の環境.....	28
5.1.1	メインウインドー .....	28
5.1.2	サービスウインドー .....	30
5.1.3	メニュー .....	31
5.2	デバイスの設定.....	34
5.2.1	ハードウェアの設定 .....	34
5.2.2	属性の設定.....	34
5.3	セキュリティ設定 .....	35
5.3.1	デバイスのペアリング .....	35
5.3.2	セキュリティ一般 .....	36
5.3.3	ペアリングデバイスの管理 .....	37
5.3.4	ローカルサービスのセキュリティ .....	37

# 1 BlueSoleil™とは

BlueSoleil は、IVT Corporation により開発された Bluetooth のソフトウェアです。マイクロソフトの Windows 上で簡単にデスクトップコンピュータまたはノートパソコンの無線接続を実現できます。また、マイクロソフトの Windows を使っているユーザは無線で、Bluetoothをサポートしている様々なデジタルデバイスにアクセスすることができます。例えば、Bluetooth 対応のデジタルカメラ、携帯電話、ワイヤレスヘッドセット、プリンタと GPS 受信機などです。また Bluetooth でワイヤレスネットワークを構築することも可能です。そして他のコンピュータとの間でデータの送受信や資源の共有をすることができます。

BlueSoleil がサポートしているOS・プラットフォームは：マイクロソフト Windows2000 および XP です。

## 1.1 Bluetooth の機能

Bluetooth の無線技術を使用してサービスへの接続や共有をする場合、接続されたデバイスの両端は必ず同じ Bluetooth™プロファイル”が使用されます。(ここでプロファイルは、一種のプロトコルを指しています。Bluetooth の仕様にしたがってこの言い方をそのまま用います。), しかも、双方のデバイスが各機能を持ちます(例えば、その中の1つの役は”サーバ”であれば、もう一つが必ず”クライアント”であること)。Bluetoothをサポートしているデバイスは通常、多くのアプリケーションをサポートしています。各デバイスは同時に一つ以上のデバイスと接続することができ、該当デバイスは同時に異なる機能を演じることができます。

下記の表に、サポートしている各種 Bluetooth プロファイル及びそこで使用される機能を示します：

Bluetooth プロファイル	クライアント側	サーバ側
ステレオオーディオヘッドфон (AV)	✓	✓
画像受信(BIP)	✓	✓
ダイアルアップネットワーク(DUN)	✓	
FAX(FAX)	✓	
ファイルの転送(FTP)	✓	✓
ワイヤレスヘッドセット(Headset)	✓	✓
ヒューマンインターフェイスデバイス(HID)	✓	
LAN 接続 (LAP)	✓	✓

情報の交換(OPP)	√	√
パーソナルエリアネットワーク(PAN)	√	√
プリンター(HCRP)	√	
仮想シリアル・ポート(SPP)	√	√
シンクロナイゼーション(SYNC)	√	√

## 1.2 簡潔なユーザー・インターフェース

**注意！**より詳しい説明が必要な場合(アイコンの意味、メインウインドー、サービス ウィンドー、およびメニューの詳しい紹介を含む)第4章の内容を参照して下さい。

BlueSoleil のデフォルトインストールではメインウインドーが表示されている状態です。主要な接続操作はすべてここで行います。ウインドーに表示されているオレンジ色のボール及び軌道の周囲に回っているデバイスのアイコンは各デバイスを意味しています。ボールはローカルデバイスを指しており、軌道の上に表示されているアイコンは発見されたリモート Bluetooth デバイスです。

画面上部のアイコンはサービスアイコンです。リモート Bluetooth デバイスの検索を行った場合、該当デバイスがサポートしているサービスのアイコンがハイライトされて表示されます。

### ローカルデバイスの基本操作:

マウスカーソルをまん中のボール上に移動すると、自動的にローカルのデバイス名及び Bluetooth アドレスの情報が表示されます。  
ボールをクリックすることにより、Bluetooth のリモートデバイスの検索開始または検索終了することができます。  
ボール上でマウスを右クリックすると、操作可能なメニューが出てきます。(これらの操作は一般的な検索、マイサービス、セキュリティなどです)。

### リモートデバイスを示すアイコンの意味:

白—アイドルの状態。リモートデバイスの一般状態です。  
黄色—選択された状態。リモートデバイスが選択されました。  
緑—接続中の状態。リモートデバイスはローカルデバイスと接続中。

### リモートデバイスの基本操作:

リモートデバイスアイコンをクリックすることにより、デバイスを選択します。  
リモートデバイスアイコンをダブルクリックすると該当デバイスがサポートしている Bluetooth サービスを検索開始します。

デバイスアイコン上でマウスを右クリックすることにより、操作可能なメニューが表示されます(リフレッシュ、並べ替え、ステータスなど)

サービスアイコンの意味:

白—アイドルの状態。サービスの一般状態です。

黄色—使用可能な状態。選択されたリモートデバイスの該当サービスが使用可能です。

緑—接続中の状態。ローカルデバイスはリモートデバイスのサービスと接続中。

サービスの基本操作:

マウスカーソルをサービスアイコンの上に移動すると、そのサービスの名前が表示されます。

サービスアイコンをクリックすることにより接続を開始します。

サービスアイコン上でマウスを右クリックすることにより操作可能なメニューが表示されます。

## 2 クレーム

メーカーは、提供する製品をいつでも予告なく変更または改良し、このマニュアルに必要な追加を行ったり、新しいバージョンをリリースしたりできます。

適用法で義務付けられている場合を除き、明示的であれ黙示的であれ、このユーザー マニュアルに含まれる内容はいかなる保証もない「現状のまま」提供されるものであれ、このガイドの精度、信頼性、内容に関して、商業的価値、特定目的への適合性の暗黙的保証はありません。

Copyright ©2006, **IVT Corporation**. 版権所有

**IVT** は将来予告なしに情報または仕様を変更または改変する権利を留保します。

**Bluetooth®** は **Bluetooth SIG, Inc** が所有する商標で、**IVT Corporation** にライセンス供与されています。

### 3 BlueSoleil™の基本操作

#### 3.1 Bluetooth アダプタの取り付け

USB または CF カードの Bluetooth アダプタを取り付けて、windows で BlueSoleil を使用します。

**注意！** ソフトウェアをインストールする前に Bluetooth アダプタを差込んだかを確認する必要があります。

**USB Bluetooth アダプタ：**

1. コンピュータの USB ポートに USB アダプタを正確に挿入します。

**CF カード：**

1. ノートパソコンに CF カードを正確に挿入します。CF カードを PCMCIA スロットに挿入する場合は、変換アダプタが必要です。
2. 新しいハードウェアの検出ウィザードが自動的に作動されます。この際インストール用 CD 必要です。インストールウィザードの指示にしたがって CF カードのドライバをインストールしてください。

#### 3.2 BlueSoleil のインストール

**注意！** コンピュータにその他の Bluetooth ソフトウェアをインストールしている場合、必ず前のソフトウェアをアンインストールして BlueSoleil をインストールしてください。

1. BlueSoleil のインストール CD を CD-ROM に置いてください。
2. “マイコンピュータ”または“コントロールパネル”を開き CD-ROM にアクセスします、CD 中の SETUP.EXE をダブルクリックしてインストールを行います。
3. 表示される指示にしたがって、ソフトをインストールしてください。インストール完了後、コンピュータを再起動してください。

#### 3.3 BlueSoleil の起動

1. デスクトップ上の BlueSoleil アイコンをクリックして BlueSoleil を起動させます。または **スタート|プログラム|IVT BlueSoleil | BlueSoleil** をクリックして BlueSoleil を起動します。

注意：BlueSoleil は Bluetooth アダプタの取り付け、取り外しを自動的に検出します、アダプタを取り付ける前に BlueSoleil を起動することができます。

2. 初めて BlueSoleil を起動する場合は”Welcome to Bluetooth”というウインドーが表示されます。システムタイプ及び名称を自動的に分析し、デフォルト値として該当ウインドーに表示されます。その他の Bluetooth デバイスからコンピュータを検出した場合は、その他の Bluetooth デバイスでこれらの情報と名称も表示されます。Bluetooth セキュリティのデフ

オルトレベルは中に設定されます。これらの情報は手動で修正することもできます。”確認”ボタンをクリックすることにより、これらの情報を保存し、“よろこそ”ウインドーもクローズされます。これで正式に BlueSoleil を使用できるようになります。

### 3.4 アップグレードの確認

起動中、BlueSoleil は www.bluesoleil.com. のアップグレードバージョンを確認します。アップグレードが可能な場合、ヒントメッセージ（図 3.1）がポップアップ表示され、ユーザーに最新のバージョン情報を通知します。ユーザーはメッセージのリンクをクリックしてサイトに直接アクセスし、新しいバージョンをダウンロードし評価することができます。



図 3.1: アップグレード情報

**注意！:**

最新のアップグレード情報を取得するには、コンピュータがインターネットにアクセスするためのネットワーク接続を行っている必要があります。

### 3.5 アクティベーション

新しいアクティベーションメカニズムは BlueSoleil の開始手順に追加され、使用許諾されていない Bluetooth デバイスを認識し、警告メッセージ（図 2）をポップアップ表示してユーザーに通知します。

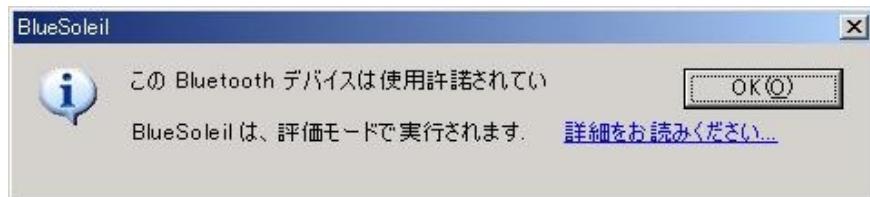


図 3.2: 使用許諾されていない Bluetooth デバイスの警告。

さらに、バージョンは合計で 5M バイトのデータしか転送できない評価コピーに自動的に切り替わります（図 3.3）。

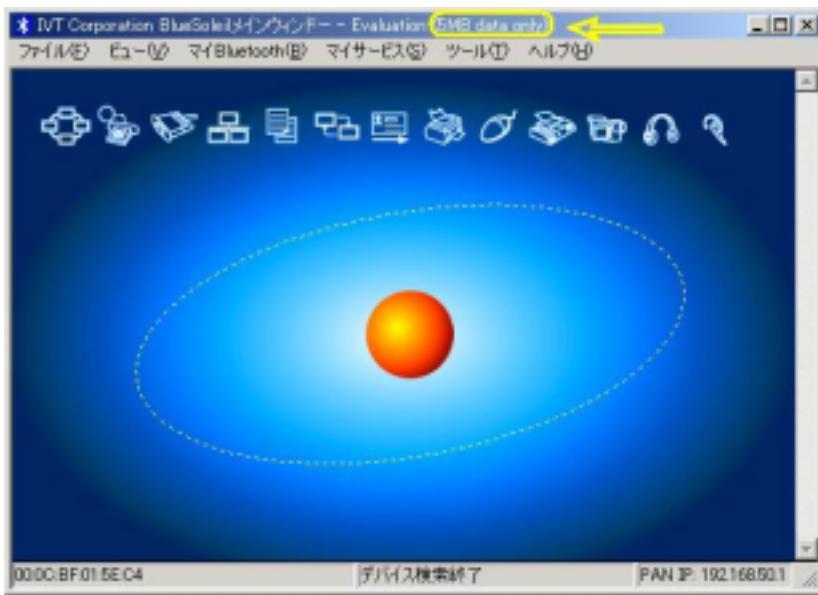


図 3.3: 評価 コピー(5MB のデータ制限)

このアクティベーションはユーザーの操作なしにバックグラウンドで自動実行され、正式なユーザーには有効になりません。

## 3.6 その他の Bluetooth 機能をサポートしているデバイスの検索

接続する前に、先ず必ず自分のコンピュータでその他の Bluetooth デバイスを検索する必要があります。

### デバイス検索

- 接続を行う前に、その Bluetooth デバイスに電源が入っていて、十分なパワーがあるか、“Discoverable モード”に設定されているか、必要なパスワード情報をすべて持つかなどを確認してください。必要であれば、リモートデバイスの使用したいサービスを起動します。リモートデバイスに関する操作は関連マニュアルを参照してください。
- メインウインドーでボールをクリックすることによりデバイス検索を行います。または、メニューバーからマイ Bluetooth | Bluetooth デバイス検索と表示 | リフレッシュをクリックします。さらに F5 キーを押しても結構です。
- 数秒を待つと、ボールの周囲の軌道に順番にアイコンが表示されます、これらのアイコンは発見された Bluetooth デバイスを意味しています。

### 注意 !

メインウインドーで最高 8 つのリモートデバイスが表示できます、検出されたデバイス数が 8 個を超えた場合、ウインドー右側のプルダウンメニューを使って 8 個以外のデバイスを表示してください。

発見したデバイスのデバイス名、デバイスアドレス、またはデバイスタイプを並べ替えたい場合、表示/デバイスの並べ替えをクリックしてください。

4. BlueSoleil がすべてのデバイス名を検出し表示するまで、数秒かかります。
5. さがしたいデバイスを見つからない場合、そのデバイスが起動されているか、Discoverable モードに設定されているかを確認してください。そして再度検索を行って下さい。再検索を行う場合は以下の方法があります。
  - ボールをダブルクリックするか、マイ Bluetooth | Bluetooth デバイス検索と表示 |リフレッシュをメニューから選択すると、この前に検出されたデバイスが削除されません。
  - F5 を押した場合、この前に検出されたデバイスが削除されます。

### 3.7 Bluetooth の接続

**注意！** 下記の内容はすべての Bluetooth デバイスに対して共通の操作です。特別なデバイスに関する操作は第三章を参照してください。

通常の接続では、クライアント側から接続作業を行います。第一章の BlueSoleil をサポートしているデバイスの機能表を参照し、使用したいサービスを確認してください。

- サーバ側でサービスを起動します
- クライアント側から接続を開始します。

#### サービスの起動。

お使いのコンピュータをサーバ側のデバイスとして使用する場合、使用するサービスをすべて起動しておく必要があります。

1. 表示|サービスウインドーから、サービスウインドーを表示します。
2. サービスウインドーで表示したアイコンがハイライト(黄色)されている場合、そのサービスが起動されたことになります。表示したアイコンは白の場合、使用したいサービスを起動してください。サービスアイコンを右クリックして出て来たメニューからサービス起動を選択すると、アイコンがハイライト(黄色)されます。また起動されたサービスが仮想シリアルポートサービスであれば、アイコンの下に、そのシリアルポートに割り当てられたシリアルポート番号も表示されます。

**注意！**

サーバー機能として BlueSoleil がサポートしている機能(プロファイル)のみのアイコンが表示されます。第一章の Bluetooth 機能表を参照してください。お使いのコンピュータによっては、Bluetooth 仮想シリアルポートは複数使用可能です。

3. サービスを起動した時点で、リモートデバイスからの接続を受け付けることができます。操作に関する説明は関連のマニュアルを参照してください。

#### 接続の開始

お使いのコンピュータをクライアント側として使用したい場合、リモートデバイス側で使用する Bluetooth サービスが起動されていることを確認してください。そうしないと、BlueSoleil は該当のサービスを見つけられませんし、接続もできません。その他のリモートデバイスに関する操作は関連のマニュアルを参照してください。

1. 表示 | メインウインドーをクリックしてメインウインドーに戻ります。
2. 接続したいリモートデバイスアイコンをダブルクリックすることにより、そのデバイスが使用可能なサービスを検出します。
3. サービスの検索終了後、そのデバイスで使用可能なサービスのアイコンがハイライトされます。その中に使用したいサービスがあるかどうかを確認してください。
4. デバイスアイコンを右クリックし、出て来たメニューから“接続”を選択すると、BlueSoleil によって接続が始まります。各デバイスで設定されているセキュリティレベルによって、接続に必要なパスキーを双方のデバイスで入力する必要があります。
5. 自動接続を設定したいかを聞いてきます。“はい”か“いいえ”を選択してください
6. 携帯電話と接続する場合は、携帯電話のデバイスリストにお使いのコンピュータを追加するか確認されることもあります。はいを指定し、パスキーを入力して下さい。
7. 接続が成功すると、BlueSoleil のメインウインドーの該当デバイスのアイコンが緑色になり、ボールとデバイスの間が緑線で結ばれ、すでに接続されたことを示します。緑線上の点はクライアント側からサーバ側に移動します。さらにデバイスアイコンのとなりには無線信号の強さが表示されます。

同時に、タスクトレイ上の BlueSoleil のアイコンも緑色になって、接続中したことを示します。

**注意！** リモートデバイスを以前接続したことがあった場合、該当デバイスのアイコンの左側に赤色のチェックマークが表示されます。

8. お使いになるサービスによっては、さらにウインドーを出てくることがあります。その他の設定を行う必要があります。(例えば、ユーザ名、パスワード、シリアルポート番号など)。第三章の特定のサービスに対する設定を参照してください。接続に関する設定ができたら、上位アプリケーションが使用可能になります。
9. 接続を中断したい場合は、メインウインドー中のすでに接続したアイコンを右クリックし、出て来たメニューで接続終了を選択します。

**注意！** この方式は BlueSoleil をクライアント側として使っている場合のみ有効です。サーバ側として使用している場合は、以下の操作を行ってください：表示 | サービスウインドーをクリックし、接続されたサービスアイコンを右クリックし、出て来たメニューからサービス停止を選択します。

### 3.8 Bluetooth のセキュリティ

マイ Bluetooth | セキュリティでセキュリティ設定を変更できます。

BlueSoleil は 3 種類のセキュリティレベルを提供します:

- 低 (セキュリティモデル 1、セキュリティ無し)  
セキュリティ無しで接続します。
- 中 (セキュリティモデル 2、サービスレベルのセキュリティ)  
特定のサービスがアクセスされた時、認証手続きが必要です。初めてデバイ同士を接続する時、または接続をしたことがあっても「信頼できるデバイス」として認められない時は、認証手続きを完了するために双方で同じパスキーを入力する必要があります。各サービスで異なったアクセス権を設定可能です。
- 高 (セキュリティモデル 3、デバイスレベルセキュリティ)  
接続するどちらかのデバイスのセキュリティモデルが3であれば、接続時には必ず認証作業が必要です。認証手続きを完了するために双方で同じパスキーを入力する必要があります。

**注意！**セキュリティモデル2の場合、認証済みのデバイスを「信頼できるデバイス」リストに追加することができます。これによりその後の接続を簡素化できます。

## 4 BlueSoleil™入門

### 4.1 ステレオオーディオヘッドフォン

Bluetooth の AV プロファイルを使用すると、Bluetooth をサポートしているヘッドフォンからコンピュータ上で再生している音楽を聴くことができます。

#### 典型的な使い方

- Bluetooth を使用して音楽を聴きます。

ステップ 1: 第二章の方法で、Bluetooth のヘッドフォンと接続します。

ステップ 2: 音楽再生ソフトを使用して音楽を再生します。音楽はワイヤレスでヘッドフォンに転送されます。

### 4.2 ベーシックイメージング

Bluetooth ベーシックイメージングプロファイルによって、デジタルカメラや携帯電話などのデバイスから画像を受信できます。また写真撮影のリモコン操作、表示、その他の機能もサポートしています。

#### 典型的な使い方

- 写真撮影のリモコン操作
- ベーシックイメージング機能をサポートしているデバイスから送信された画像を受信します。

#### 写真撮影のリモコン操作

ステップ 1: 第二章の手順で、Bluetooth カメラと接続します。

Bluetooth カメラコントローウィンドーが表示されます。図 3.1



図 3.1 Bluetooth カメラコントローラ

ステップ 2: ボタンを押して写真を撮ります。撮った写真はコンピュータに送信され、表示されます。

#### 画像の受信

ステップ 1: クライアント側より送信して来た画像ファイルを保存するパスを指定します。マイサービス|プロパティを選択し、出て来たダイアログボックスからベーシックイメージタブから画像を保存するディレクトリを指定し確認ボタンを押します。

ステップ 2: 第二章にしたがって、ベーシックイメージサービスを起動します。

ステップ 3: リモートデバイスから画像を送信します。リモートデバイスに関する操作はそのデバイスのマニュアルを参照してください。

### 4.3 ダイアルアップ接続

Bluetooth のダイアルアップネットワーク(DUN)プロファイルを使用して、DUN プロファイルをサポートしているモデムまたは携帯電話を通してワイヤレスでインターネット接続することができます。

#### 典型的な使い方

- Bluetooth 携帯電話を通してインターネットに接続します。
- Bluetooth モデムからダイアルアップでインターネットに接続します。

Bluetooth 携帯電話を通してインターネットに接続します。

ステップ 1: 第二章にしたがって、携帯電話のダイアルアップネットワークサービスと接続します。

ステップ 2: 出て来たダイヤルダイアログボックスにダイヤルしたい番号、ユーザ名、パスワードを入力します、入力した情報を確認した上で、ダイヤルボタンを押します。図 3.2 参照

**注意！** デフォルト番号は\*99\*\*\*1#で、これはアメリカの特定の GPS 電話とサービスプロバイダーがサポートしているものです。必要であれば、お使いのサービスプロバイダーの上を確認して下さい。

**注意！** 接続が成功すると、ダイアログボックスを出て来て、デスクトップにダイアルアップショートカットを作成するかどうかを聞いてきます。これにより手動で BlueSoleil を起動する必要が無くなり、ショートカットをダブルクリックするだけでダイアルアップ接続ができます。メニューバーからツール / マイショートカットを選択して、BlueSoleil の起動時にダイアルアップ接続も自動的に起動させる設定もきます。



図 3.2 ダイヤルアップのダイアログボックス

## 4.4 FAX

Bluetooth の FAX プロファイルによって、ユーザは一つの該当アプリケーションをサポートしているモデムまたは携帯電話を通して、コンピュータから FAX の送信ができます。

### 典型的な使い方

- Bluetooth の携帯電話を通して FAX 送信を行います。
- Bluetooth のモデムを通して FAX 送信を行います。

Bluetooth の携帯電話を通して FAX 送信を行います。

ステップ 1: 第二章にしたがって、携帯電話の FAX サービスと接続します

ステップ 2: FAX 送信用ソフトウェアを使って、FAX を送信します。

Bluetooth のモデムを通して FAX 送信を行います。

ステップ 1: 第二章にしたがって、モデムの FAX サービスと接続します

ステップ 2: FAX のソフトウェアを起動します。ソフトウェアの中で、Bluetooth Fax Modem (Bluetooth Modem ではなく)を設定して下さい。FAX に関する操作は FAX のマニュアルを参照してください。

ステップ 3: FAX 送信用のソフトウェアを使って、FAX を送信します。

## 4.5 ファイル転送

Bluetooth のファイル転送プロファイルによって、Bluetooth 機能をサポートしているデスクトップコンピュータ、ノートパソコン、PDA、携帯電話との間でフォルダやファイルの転送することができます。

### 典型的な使い方

- 携帯電話と接続して、ファイル転送を行います。
- 別の Bluetooth デバイスとコンピュータのフォルダーを共有する。
- 別の Bluetooth デバイスの共有フォルダにアクセスする。

携帯電話と接続する。

ステップ 1: 第二章にしたがって、携帯電話のファイル転送サービスと接続します。

ステップ 2: ダイアログボックスに携帯電話のフォルダが表示されます。フォルダ中のファイルをコピー、ペースト、削除することができます。

別の Bluetooth デバイスとコンピュータのフォルダーを共有する

ステップ 1: 共有したいフォルダを選択しリモートユーザの権限を定義します。**マイサービス | プロパティ**を選択し、ファイル転送タグを選択します。

**フォルダを共有する:**共有したいフォルダを選択します。

**アクセス権:**読み書き可を選択すれば、共有フォルダ中のファイルまたはサブフォルダに対して、その他のデバイスから、コピー、ペースト、削除することができます。読み取り専用を選択すれば、フォルダの内容の表示とコピーだけを許可します。

ステップ 2: 第二章にしたがって、ファイル転送サービスを起動します。

ステップ 3: リモートデバイスにお使いのコンピュータを表示します。リモートデバイスの操作は、そちらのマニュアルを参照ください。リモートデバイスからお使いのコンピュータに接続する場合、Bluetooth サービスの認証画面が出てくるかも知れません。そこでは「はい」を選択して下さい。

ステップ 4: 接続後はアクセス権限によって、リモートデバイスはお使いのコンピュータの共有フォルダのファイルに対してコピー、ペースト、削除が使えます。関連の操作はリモートデバイスのマニュアルを参照してください。

別の Bluetooth デバイスの共有フォルダにアクセスする。

ステップ 1: リモートデバイスで共有フォルダ、ファイルを指定します。関連の操作はリモートデバイスのマニュアルを参照してください。

**注意！** リモートデバイスでフォルダの共有を設定しなければ、BlueSoleil

は該当デバイスでのファイル共有サービスを検出することができません。

- ステップ 2: リモートデバイスで FTP サービスを起動します。第二章にしたがって BlueSoleil から接続をしにいきます。
- ステップ 3: 接続後リモート共有フォルダのウインドーが出て来て、リモートデバイスの共有フォルダの内容が表示されます。アクセス権によって、表示ファイルに対しコピー、ペースト、削除ができます。

## 4.6 ヘッドセット

Bluetooth のヘッドセットプロファイルによってユーザはワイヤレスで音声通話ができます。

### 典型的な使い方

- ヘッドセットをオーディオ入出力デバイスとして使用します。
- ステップ 1: 第二章にしたがって、ヘッドセットサービスと接続します。
- ステップ 2: コンピュータで音楽を再生したり、ネットワーク通信ソフトウェアを使ってチャットを行います。ヘッドセットのボタン操作により、コンピュータとヘッドセット間で、ワイヤレスのオーディオ送信が可能となります。

**注意！**ほとんどのヘッドセットでは、BlueSoleil と一旦接続すると、その後はボタン操作だけで簡単に再接続が可能となります。

## 4.7 ヒューマンインターフェイスデバイス

Bluetooth のヒューマンインターフェイスデバイス(HID)プロファイルによって、キーボード、マウス、ゲームコントローラなどの Bluetooth HID デバイスをワイヤレスでコンピュータに接続することができます。

### 典型的な使い方

- Bluetooth のマウスまたはキーボードを使用する
- ステップ 1: 第二章にしたがって Bluetooth マウスまたはキーボードと接続します。
- ステップ 2: BlueSoleil から接続する前に、マウスまたはキーボード上の特定のキーを押し、デバイスを discoverable モードにして下さい。

**注意！**

初めて Bluetooth マウスまたはキーボードと接続した場合は、システムのハードウェアを検出するウィザードが自動にあらわれます。出て来た最初の画面で「CD-ROM を使用しない」を選択し、その後は画面の指示に従って下さい。再度鶴い座一度が現れた場合、「キャンセル」を選択して下さい。マウスまたはキーボードが使用可能となっています。一旦接続してしまうと、マウスまたはキーボードは次回から自動的に接続できます。

## 4.8 LAN 接続

LAN 接続プロファイルによって、アクセスポイント経由で LAN にアクセスすることができます。

### 典型的な使い方

- Bluetooth アクセスポイント経由で LAN に接続する。
- お使いのコンピュータをアクセスポイントにする。

Bluetooth アクセスポイント経由で LAN に接続する。

ステップ 1: 第二章にしたがって、Bluetooth アクセスポイントと接続します。

ステップ 2: 必要であれば、LAP 接続ダイアログボックスにユーザ名とパスワードを入力し、「接続」をクリックします。

お使いのコンピュータをアクセスポイントにする。(上級ユーザのみ)

ステップ 1: 第二章にしたがって、BlueSoleil の LAN アクセスサービスを起動します。

ステップ 2: 接続クライアント用に固定 IP アドレスを入力します。(DHCP を使用する場合は動的な IP アドレスが割り当てられます。)

(1) ネットワーク接続画面の「Incoming」を右クリックし、プロパティを選択します。(図 3.3)。

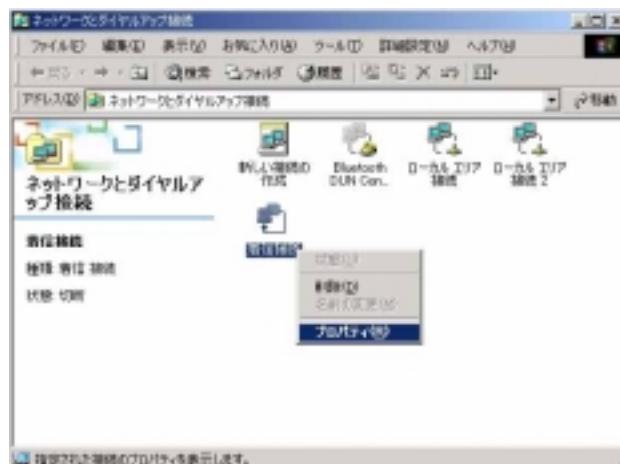


図 3.3: メニューからプロパティを選択します。

(2) 接続プロパティ | ネットワーク -> インタネットプロトコル(TCP/IP)を選択します、プロパティをクリックします (図 3.4)

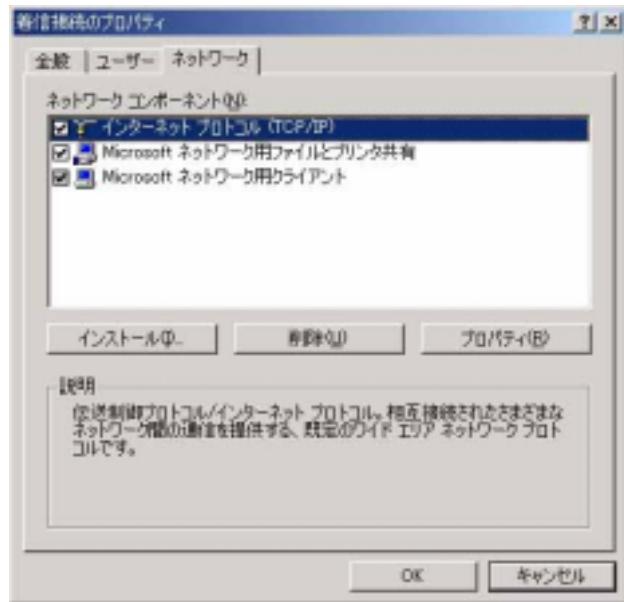


図 3.4 インタネットプロトコル(TCP/IP) ネットワークコンポーネント

(3) 「TCP/IP アドレスを指定」を選択し、LAP クライアント用の IP アドレスの範囲を入力します。(図 3.5)。

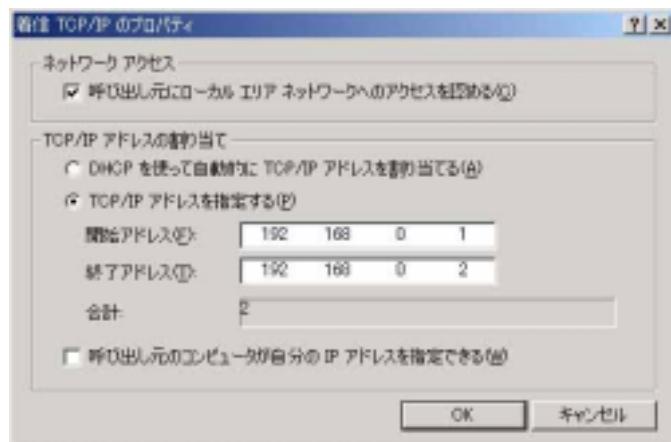


図 3.5: IP アドレスを入力します。

## 4.9 オブジェクトプッシュ

Bluetooth のオブジェクトプッシュプロファイルによってユーザは、PDA または携帯電話から個人情報データ(PIM)の送受信することができます。これらはメッセージ、メモ、スケジュール、名刺などです。

サポートしているオブジェクトは:

名刺 (\*.vcf)

スケジュール (\*.vcs)

メモ (\*.vnt)

## メッセージ (\*.vmg)

### 典型的な使い方

- Bluetooth 携帯電話または PDA にオブジェクトを送信する。
- Bluetooth 携帯電話または PDA からオブジェクトを受信する。

**注意！** PDA に PIM のオブジェクトを送信する前に、PDA 側を受信状態にする必要があります。必要であれば PDA でオブジェクトプッシュを有効とします。関連の操作は PDA のマニュアルを参照してください。

Bluetooth 携帯電話へオブジェクトを送信する。

二種類の送信方式が選択できます：

方式一： BlueSoleil のメインウインドーから携帯電話または PDA のアイコンをダブルクリックしてサービスの情報を表示します。メインウインドーの上部にオブジェクトプッシュアイコンがハイライトされます。オブジェクトプッシュサービスのアイコンを右クリックして、マイカード送信を選択します。(図 3.6)

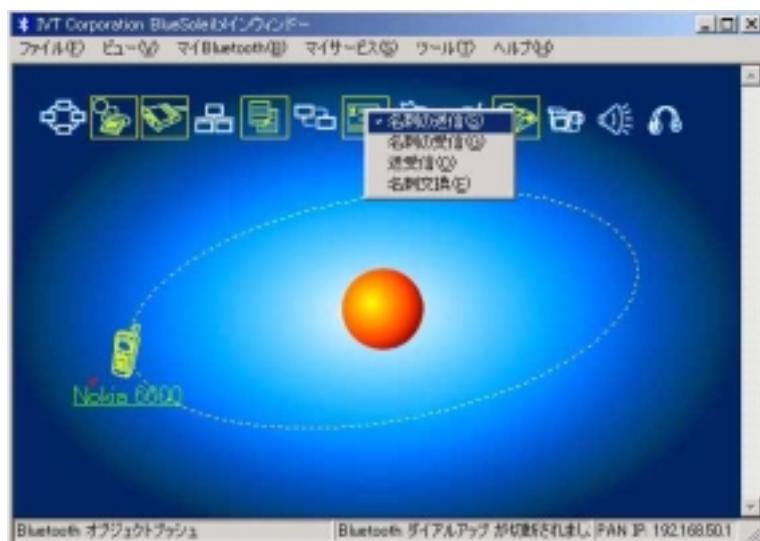


図 3.6: オブジェクトの送信

マイカードの送信：

デフォルトカードの送信

カードの受信：

携帯電話のデフォルトカードの受信

オブジェクトの送信：

オブジェクト(拡張子\*.vcf, \*.vcs, \*.vnt, \*.vmg をもつ PIM データファイル)を携帯電話へ送信。

カードを交換。

携帯電話とコンピュータの間でデフォルトカードを交換

方式二： Microsoft Outlook から：

- (1) 送信したい送信先を選択します。
- (2) Outlook のツールバーで**送信ボタン**をクリックするか、**ファイル | 送信**をクリックします。
- (3) **Bluetooth のネットワーク**ウインドーのリモートデバイスリストから送信したい携帯電話または PDA を選択して、**送信ボタン**をクリックします。

Bluetooth 携帯電話からオブジェクトを受信する

- ステップ 1： オブジェクトプッシュ用のパラメータを設定します。メインウインドーのツールバーで**マイサービス | プロパティ**をクリックして、オブジェクト送信タブをクリックします。
- ステップ 2： 第二章に従ってオブジェクトプッシュサービスを開始。接続詞に行くのではなく、ただサービスを開始して下さい。オブジェクトの受信可能状態となります。
- ステップ 3： 携帯電話からオブジェクトを送信します。関連の操作は携帯電話のマニュアルを参照してください。

### 注意！

*BlueSoleil* はオブジェクトプッシュ用にマイコンピュータに Bluetooth フォルダーと *Inbox* と *Outbox* のサブフォルダを作成します。*Inbox* フォルダには外部より受信したオブジェクトを保存され、*Outbox* フォルダには外部に送信したオブジェクトを保存します。

メインウインドーで**マイサービス|オブジェクトプッシュ**を選択すると「カード送信」欄にデフォルトのカードが表示されますので選択して下さい。

## 4.10 パーソナルエリアネットワーク

Bluetooth パーソナルエリアネットワークプロファイル(PAN)によって、PC、ノートパソコン、PDA またはその他の Bluetooth デバイスを使用して、以下のいずれかの Bluetooth パーソナルエリアネットワークを構築することができます。一つは独立したネットワークとして機能するアドホックなグループネットワーク(GN)で、複数のユーザ(PANU)が GN コントローラを通して接続できます。もう一つは、ネットワークアクセスポイント(NAP)経由で外部のネットワークに接続するもので、複数の PANU からなるネットワークです。*BlueSoleil* はこれら 3 種類の PAN 機能 (NAP, GN, PANU)をサポートしています。

### 典型的な使い方

グループアドホックネットワーク(ピア・ツー・ピアネットワーク)  
一つのデバイスは *GN* となり、他のデバイスは *PANU* として接続します。これらのコンピュータは *TCP/IP* のアプリケーションでお互いにアクセスを行えます。

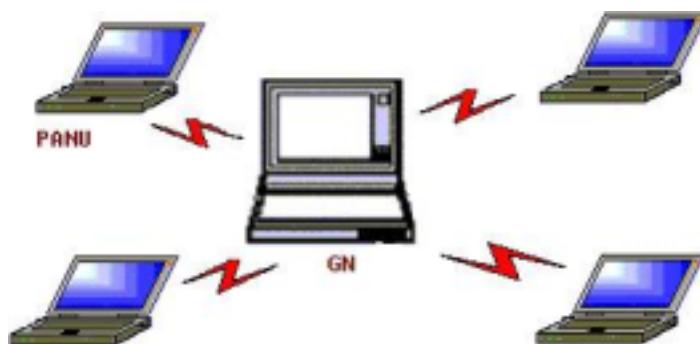


図 3.7 グループアドホックネットワーク

アクセスポイント経由で *LAN* にアクセスする(または *NAP* として動作する。)  
*NAP* と接続後は、お使いのコンピュータが *LAN* の一員になって、*LAN* 上のその他のコンピュータにアクセスすることができます。

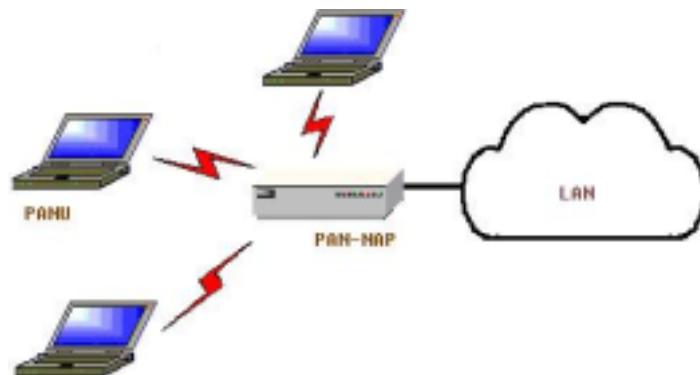


図 3.8 PAN-NAP 経由で LAN に接続

#### PAN-U としての接続 (PANU)

ステップ 1: 第二章にしたがってサーバ側のパーソナルエリアネットワークサービスと接続します。

ステップ 2: BlueSoleil が IP アドレスを自動的に取得し、それを表示してくれます。

#### NAP/GN としての設定

マイサービス | プロパティからパーソナルエリアネットワークタブを選択します。

設定一 グループアドホックネットワーク

Bluetooth のパーソナルエリアネットタブから「DHCP を使用」をチェックします。(図 3.9)。

GN 上の DHCP サービスを起動して下さい。PANU が固定 IP アドレスを設定していない場合、DHCP サーバから IP アドレスを取得することができます。

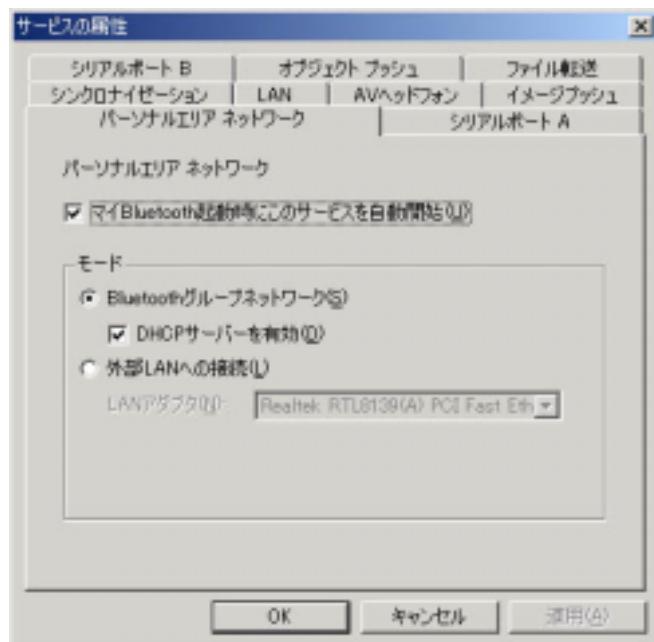


図 3.9:パーソナルエリアネットワークの設定

## 設定二

PAN NAP 経由で LAN にアクセス。

「LAN への接続」を選択し、LAN アダプタを指定します。(図 3.10)。

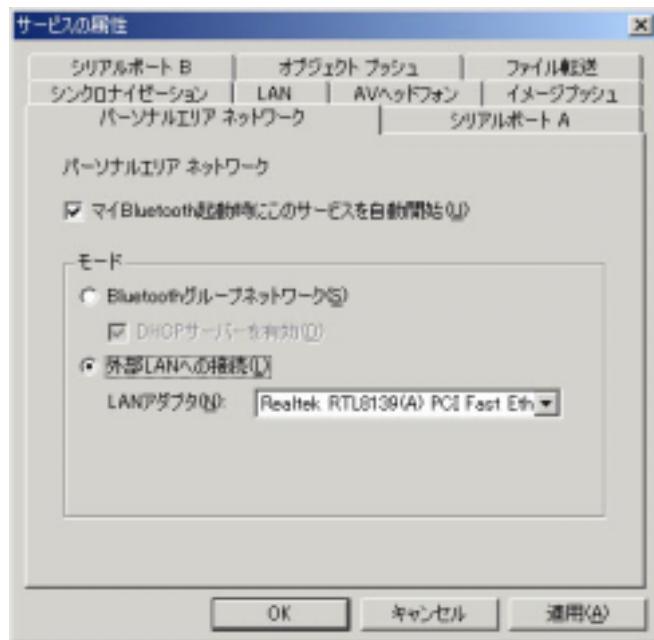


図 3.10:PAN NAP 経由で LAN へ接続

## 4.11 プリンタ

Bluetooth プリンタのプロファイル(HCRP)によってコンピュータをプリンタに接続することができます。

### 典型的な使い方

- Bluetooth プリンタを使って印刷する。

ステップ 1: プリンタのプリンタサービスと接続します。

(a) 使用しているプリンタのドライバがインストールされていなかった場合、BlueSoleil がそれを要求します。プリンターが接続されるポートを確認するには、メインウインドーでアイコンを右クリックし、**ステータス**を選択します。

(b) プリンタドライバがインストールされている場合、プリンタが使用可能であるメッセージが表示されます。

ステップ 2: Bluetooth のプリンタを使って印刷します。アプリケーションで正しいプリンタとプリンタポートを選択して下さい。

## 4.12 シリアルポート

Bluetooth シリアルポートプロファイル(SPP)によって、PC、ノートパソコン、PDA、GPS 受信機等で仮想シリアルポートが使用可能となり、シリアルケーブル無しで各デバイスが接続できます。

BlueSoleil は同時に 4 つの出力用ポートと 2 つの入力用 Bluetooth ポートをサポートします。

### 典型的な使い方

- Bluetooth シリアルポート経由でその他の Bluetooth デバイスと接続する。

PDA と接続する。

ステップ 1: 第二章にしたがって、PDA のシリアルポートサービスと接続します。

ステップ 2 ActiveSync やその他のシリアル通信を行います。

### 注意！

シリアルポートの自動接続機能。

一旦あるデバイスに一つのシリアルポートを割り当てると、アプリケーションがそのポートをオープンした時に、BlueSoleil は自動的にどのデバイスとの接続を行います。同様にアプリケーションがポートをクローズした時に、BlueSoleil が自動的に接続終了を行います。どのデバイスがどのポートに割り当てられているかを確認するには、ツール/設定/接続を選択します。

アプリケーションによっては特定のポートしか使用できないものがあります。BlueSoleil が割り当てたポート番号をアプリケーションで使用できない場合は BlueSoleil をそのアプリケーションでは使用できません。

## 4.13 シンクロナイゼーション

Bluetooth のシンクロナイゼーションプロファイル SYNC を使用することで、PC 内の PIM オブジェクトを他の PC、PDA、携帯電話及びその他の Bluetooth デバイスとの間でシンクロナイズさせられます。

サポートされているオブジェクト：

名刺 (\*.vcf)  
スケジュール (\*.vcs)  
メモ (\*.vnt)  
メッセージ (\*.vmg)

サポートしている Microsoft Outlook のバージョン：Outlook 2000、Outlook 2002(XP)、Outlook 2003。

### 典型的な使い方

- コンピュータと Bluetooth 携帯電話のシンクロナイズ

ステップ 1： 第二章にしたがって、携帯電話のシンクロナイゼーションサービスと接続します。

ステップ 2： シンクロナイゼーションダイアログボックスが表示されます。（図 3.12 を参照）。スタートボタンを押してシンクロナイゼーションを開始すると、Microsoft Outlook のアドレス、スケジュール、メモと電子メールが携帯電話とシンクロナイズされます。

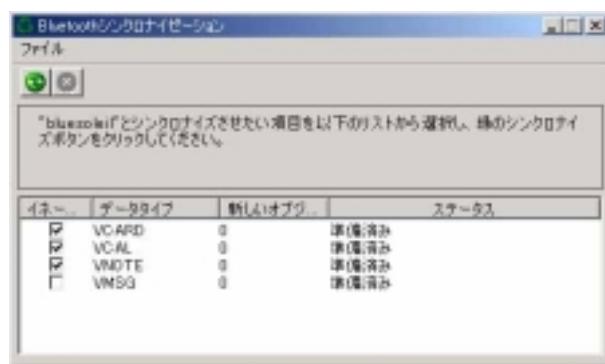


図 3.12：シンクロナイゼーション開始

### 注意！

BlueSoleil がインストールした追加のメニュー やボタンを使って MS Outlook からシンクロナイゼーションを開始できます。

*BlueSoleil* はシンクロのサーバ側として機能します。マイサービス / プロパティのシンクロナイゼーションタブから、シンクロナ化させたい PIM オブジェクトを選択します。

## 5 BlueSoleil ユーザーガイド

### 5.1 BlueSoleil の環境

#### 5.1.1 メインウインドー

メインウインドーではローカルデバイス(真中のボール)と見つかったリモートデバイスが表示されます。接続、切断の操作はここで行います。接続されたローカルデバイスとリモートデバイスは緑の破線で結ばれます。

デフォルトでは、BlueSoleil を起動後メインウインドーがオープンされます、別のウインドーからメインウインドーへ戻る場合、**表示 | メインウインドー**を選択します。



#### ローカル Bluetooth デバイス

ローカル Bluetooth デバイスはいわゆる”マイデバイス”です。BlueSoleil が起動しているコンピュータを意味します。

#### 関連の操作

- マウスカーソルを真中のボールに移動すると、ローカルデバイスの名前及び Bluetooth アドレスが表示されます。
- ボールをクリックして、周辺の Bluetooth リモートデバイスの検索開始または検索終了を行います。
- ボールを右クリックすると操作メニュー(通常検索、マイサービス、セキュリティなど)。

#### リモート Bluetooth デバイス

ローカルデバイスの無線の範囲内にある Bluetooth デバイスがローカルデバイスです。BlueSoleil は各デバイスを、異なるアイコンで表します。

PC		ノートパソコン	
モデム		携帯電話	
PDA		LAN アクセスポイント	

キーボード		マウス	
マイク		AV 機器	
スピーカー		ヘッドセット	
プリンタ		スキャナ	
FAX		カメラ	
ゲームコントローラ		サーバ	
未知デバイス			

### アイコンの意味

BlueSoleil は三つの色を使ってリモートデバイスの三種類の状態を表示します。

白色—アイドルの状態。リモートデバイスの一般状態です。

黄色—選択された状態。既にリモートデバイスを選択した状態。

緑—接続中である状態。該当デバイスはコンピュータと接続しました。

### 関連の操作

選択する場合はマウスのシングルクリック。

リモートデバイスがサポートしているサービスの検索はマウスのダブルクリック

関連操作のメニュー(リフレッシュ、pairing、接続など)表示はマウスの右クリック

### **Bluetooth のリモートデバイスのサービスアイコン**

メインウィンドーで表示されたサービスアイコンはリモートデバイスがサポートしている Bluetooth サービスを表します。

パーソナルエリアネットワーク		ダイヤルアップネットワーク	
仮想シリアルポート		LAN 接続	
ファイル転送		シンクロナイゼーション	
オブジェクトプッシュ		プリンタ	
ヒューマンインターフェイスデ		FAX	

バイス			
ベーシックイメー ージング		AV	
ヘッドセット			

#### アイコンの意味

三つの色を使ってサービスの三種類の状態を表します:

白色—アイドルの状態です。サービスの一般状態を表示します。

黄色—使用可能な状態。選択されたリモートデバイスが提供しているサービスが利用可能。

緑—接続中である状態。リモートデバイスが提供しているサービスと接続。

#### 関連の操作

アイコン上にマウスカーソルを移動すると、サービス名が表示されます。

サービスへ接続する場合はマウスのシングルクリック。

関連操作のメニュー表示はマウスの右クリック

### 5.1.2 サービスウインドー

サービスウインドーではローカル Bluetooth サービス(BlueSoleil がサポートしているサービス)の状態を表示します。サービスウインドーを使ってサービス開始と終了を行い、サービスの属性の設定もできます。表示|サービスウインドーを選択して、サービスウインドーへアクセスします。

#### ローカルサービスリスト

ローカルデバイスがサポートするサービス一覧です。

サービス	アイコン	サービス	アイコン
パーソナルエリ アネットワーク		仮想シリアルポート	
オブジェクトプッ シュ		ファイル転送	
シンクロナイゼ ーション		LAN 接続	
AV		ベーシックイメージ ング	

#### アイコンの意味

三種の色を使って、ローカル Bluetooth サービスの三種類の状態を表します。

白色—アイドルの状態です。該当サービスが起動されていない。

黄色—起動された状態。ローカルサービスが起動された状態。

緑—接続中である状態。リモートデバイスは該当サービスと接続したことを表します。

### 関連の操作

選択する場合はマウスのシングルクリック。

サービスの起動、停止はマウスのダブルクリック

関連操作のメニュー表示はマウスの右クリック

#### 5.1.3 メニュー

BlueSoleil には以下の6つのメニューがあります：

ファイルメニュー

表示メニュー

マイ Bluetooth メニュー単

マイサービスメニュー

ツールメニュー

ヘルプメニュー単

### ファイルメニュー

隠す --- BlueSoleil のウインドーを隠します。この時、接続はまだ残っています。

常に手前 --- BlueSoleil のウインドーがいつも一番の前に表示されます。

終了 --- BlueSoleil を終了します。

タスクバーの Bluetooth アイコンを右クリックして出てきたメニューから“終了”を選んで終了することもできます。

### 表示メニュー

メインウンドー --- BlueSoleil のメインウンドーを表示します。

サービスウンドー --- BlueSoleil のサービスウンドーを表示します。

デバイスの並べ替え --- デバイス名、アドレス、デバイスタイプでリモートデバイスを並べ替えます。

リフレッシュ --- リモートデバイスリストを最新の情報に更新します。

**注意！** リフレッシュを行っても、すでに見つかっているデバイスはクリアされません。すべてをクリアした上でデバイス検索を行う場合は、キーポートのF5を押してください。

### マイ Bluetooth メニュー

**Bluetooth デバイスの検索** --- 無線のとどく範囲内の Bluetooth デバイスを検索します。  
**Bluetooth サービスの表示** --- 選択されたデバイスのサービスを表示します。  
**セキュリティ** --- ローカルデバイスのセキュリティを設定します。(パスワードの必要性、暗号化など)。  
**属性** --- ローカルデバイスの属性を設定します。(デバイス名、アクセス性)。

### マイサービスメニュー

**サービス開始** --- 選択したローカル Bluetooth サービスを起動します。  
**サービス終了** --- 選択したローカル Bluetooth サービスを終了します。  
**ステータス** --- 選択したローカル Bluetooth サービスのステータスを表示します。  
**属性** --- ローカル Bluetooth サービスの属性を設定します。(自動接続、共有ファイルなど)。

### ツールメニュー

**マイショートカット** --- Bluetooth ショートカットを表示します。

接続: 選択されたショートカットと接続します。  
削除: 選択されたショートカットを削除します。

**デバイスの検索** --- 以下の方法でデバイスを検索します:

#### Bluetooth アドレスを指定:

Bluetooth アドレス(xx:xx:xx:xx:xx:xx)を入力し、検索ボタンをクリックします。指定されたアドレスを持つデバイスがメインウインドーにハイライトされて表示されます。

#### デバイス名を指定:

名称で検索をチェックし、デバイス名を入力し検索ボタンをクリックします。指定された名前を持つデバイスがメインウインドーにハイライトされて表示されます。

**デバイスの追加** --- Bluetooth アドレスを直接入力して新しいデバイスを追加します。

**履歴からデバイスの追加** --- 過去の履歴からリモートデバイスを追加します。

追加: 選択されたデバイスを追加します。  
削除: 履歴一覧から選択されたデバイスを削除します。

**設定→自動接続** --- アプリケーションが特定のシリアルポートをオープンする時は常時リモートデバイスを Bluetooth ポートに自動的に接続させることができます。

割り当て: デバイスに選択されたシリアルポートを割り当てます。  
削除: シリアルポートに割り当てられているデバイスの自動接続設定を削除します。

**設定→ HID の取り外し** --- BlueSoleil からヒューマンインターフェイスでバイスを取り外します。

取り外し: 選択したデバイスを取り出します。

ヒューマンインターフェイスデバイスが初めてコンピュータに接続された時、BlueSoleil はデバイスに適当な設定を行います。接続が切断されても自動的に再接続が可能です。本操作を行うと自動再接続機能が無効になります。

**Bluetooth デバイス** --- 詳細設定です。上級ユーザー用です。4.2 章を参照して下さい。

**オプション** --- Windows での BlueSoleil の起動、オンライン更新の自動更新のようない他の機能の有効/無効を切り替えたり、関連するオプションをオン/オフにすることによって何らかの操作を行うときのプロンプトの有効/無効を切り替えます。

起動:

- (1) Windows を起動するときに BlueSoleil を開始 --- このオプションを有効にすると、BlueSoleil は Windows で起動します。
- (2) 更新を自動的にチェック --- プロンプトがポップアップ表示されて、BlueSoleil が起動したら BlueSoleil の Web サイトから更新をチェックするようにユーザーに通知します。

**注意！:** 更新のチェック機能はデフォルトで有効になっています。

その他::

- (1) 「クイック接続」アイテムを追加する前に通知する --- 新しい送信接続シリアルポートが確立されたら新しい「クイック接続」アイテムを追加するかどうかの問い合わせ。
- (2) サービスを停止して接続を切る前に通知する --- 接続を切る前にローカルサービスを停止するかどうかの問い合わせ。 パーソナルエリアネットワーキング および 同期化 プロファイルにのみ適用されます。

## ヘルプメニュー

**内容とキーワード** --- BlueSoleil のオンラインヘルプです。

**更新のチェック** --- BlueSoleil の Web サイトにアクセスして更新が使用できるかどうかをチェックします。

**購入** --- BlueSoleil のオンラインショッピングページを開いて、現在のバージョンのライセンスを購入します。

**登録** --- ライセンスキーを入力して現在の BlueSoleil コピーを正式版にします。

## オンラインサポート

**BlueSoleilについて** --- お使いの BlueSoleil のバージョン情報

**注意！**: Please visit [www.bluesoleil.com](http://www.bluesoleil.com) にアクセスして、BlueSoleil バージョンの購入方法と登録方法に関する詳細を入手してください。

## 5.2 デバイスの設定

### 5.2.1 ハードウェアの設定

BlueSoleil は以下の Bluetooth アダプタをサポートしています。

ツール | Bluetooth デバイスからハードウェア設定を行います。

#### Bluetooth デバイス

お使いになる Bluetooth アダプタのタイプを選択します、USB アダプタまたは CF カード。

#### 詳細設定

CF カードを使用する場合のみ**詳細設定**が必要です。**詳細設定**ではシリアルポート番号、バイトサイズ、ボーレート、パリティ、ストップビット、フローコントロールなどの詳しいパラメータを設定します。

### 5.2.2 属性の設定

**マイ Bluetooth| 属性**を選択して、ローカルデバイスの属性を設定します。

#### 一般

##### デバイス名称

ローカルデバイスの名称です。

##### デバイスタイプ

デバイスタイプ (PC、ノートパソコンまたはサーバなど)。

##### デバイスアドレス

ローカルデバイスの Bluetooth アドレス。すべてのデバイスは個別の Bluetooth デバイスアドレスを持ちます。

## アクセス性

### 接続モード

*接続可:他の Bluetooth デバイスが接続可能*

*接続不可:他の Bluetooth デバイスが接続不可能*

### Discoverable モード

*通常の Discoverable:他のデバイスが発見可能*

*限定的 Discoverable:限定的検索でのみ発見可能。*

*Non-Discoverable:他のデバイスが発見不可能*

### Bonding モード(Paring モード)

*Bonding を受け付ける:他のデバイスと Paring を許可する。他のデバイスが paring する際に双方で同じパスキーの入力が必要です。*

*Bonding の拒否:他のデバイスとの Paring を許可しない。*

## ハードウェア

Bluetooth ハードウェア情報を表示します。

*製造メーカー:Bluetooth デバイスのメーカー名。*

*HCI バージョン:Bluetooth デバイスの HCI バージョン。*

*HCI エディション:Bluetooth デバイスの HCI エディション。*

*LMP バージョン:Bluetooth デバイスの LMP バージョン。*

*LMP サブバージョン:Bluetooth デバイスの LMP サブバージョン。*

## 5.3 セキュリティ設定

セキュリティ設定ページを使って、ローカルデバイスのセキュリティを設定します。

### 5.3.1 デバイスのペアリング

一旦にコンピュータとリモートデバイスがパスキーを使用して認証(ペアリング)を行うと、その後の接続にはパスキーが必要無くなります。

#### ペアリングの方法

自動

パスキーが必要な場合、最初の接続で同じパスキーが双方のデバイスで指定されなければなりません。この作業が成功すると、メインウインドーのリモートでバイスのアイコン横に赤いチェックマークが入ります。

#### 手動

メインウインドーのデバイスアイコンを右クリックし、メニューからペアリングを選択します。パスキーの入力ウインドーでリモートデバイスと同じパスキーを入力します。この作業が成功すると、メインウインドーのリモートでバイスのアイコン横に赤いチェックマークが入ります。

#### ペアリング解除方法

メインウインドーのデバイスアイコンを右クリックし、メニューからペアリング解除を選択します。リモートでバイスのアイコン横の赤いチェックマークは消えます。

### 5.3.2 セキュリティ一般

マイ Bluetooth| プロパティを選択して、セキュリティ設定ページを開きます。

#### セキュリティレベル

##### 低

他のデバイスはパスキーの入力無しで自由にお使いのコンピュータに接続できます。ただしリモートデバイスがパスキーを必要とする場合は、双方でパスキーを指定する必要があります。

##### 中

セキュリティレベル中はサービスレベルのセキュリティです。各リモートでバイスに対し個別の設定が可能です。詳細については 4.3.4 を参照ください。

##### 高

一旦ペアリングがされない限り、どのデバイスに対してもパスキーによる認証を要求します。

#### Bluetooth パスキー

##### デフォルトパスキーを設定

デフォルトのパスキーを設定できます。これによりパスキー指定時に手動で入力する必要が無くなります。

### データの暗号化

#### データの暗号化を有効にする

これをチェックした場合、データ転送が暗号化されます。

### 5.3.3 ペアリングデバイスの管理

マイ Bluetooth | セキュリティのデバイスタブからセキュリティ設定が可能です。

#### ペアリング済みデバイス

ペアリング済みのリモートデバイス一覧を表示します。

#### ペアリングの削除

選択されたデバイスとのペアリングを解除します。

#### 認証

選択されたペアリング済みデバイスから接続したい Bluetooth サービスをクリックします。サービス一覧が表示されます、使用したいサービスを選択します、そして確認ボタンをクリックします。

#### **注意！**

本設定では認証が必要なローカルサービスのみが表示されます、認証が必要ないサービスについては自由にアクセス可能です。本設定は、セキュリティレベルが中の場合のみ有効です。

### 5.3.4 ローカルサービスのセキュリティ

マイ Bluetooth | セキュリティのサービスタブからローカルサービス設定画面を開きます。セキュリティモデルが中に設定された場合のみ、ローカルサービスに対するセキュリティ設定が可能です。(セキュリティレベルの設定は一般 | セキュリティ)

#### ローカルサービス:

#### 認証

このサービスに接続する場合は必ずパスキーが必要です。

#### 暗号化

デバイス間の通信を暗号化します。

### 許可

使用したいサービスを許可するデバイスを選択します。

**サービス許可画面**では以下の設定があります：

#### 信頼できるデバイス

使用したいサービスに対し、デバイス一覧から信頼できるものを選択します。

ここで指定されたデバイスから自由にアクセスできます。デバイス一覧の編集は、**追加**、**削除**をクリックして下さい。

#### すべてのデバイスを信頼できるデバイスとして登録

すべてのリモートデバイスからの接続を受け付けます。

#### 該当サービスでデバイスが信頼できない場合ユーザーに知らせる

信頼できないデバイスが接続しようとした場合、接続を受け付けるか拒否するか聞いてきます。

#### 該当サービスでデバイスが信頼できない場合接続を拒否する

信頼できないデバイスから接続要求があった場合、何も通知しないで接続を拒否する。

### **注意！**

ローカルデバイスが信頼できる場合、何も通知せずに接続を受け付けます。